

生命倫理 追・再試験に関するお知らせ

生命倫理の追・再試験につきまして、担当教員よりの連絡事項は以下の通りとなっておりますので、対象の学生は必ず確認して下さい。

記

生命倫理の追・再試験におきましては、以下の1・2について問いますので、各自十分に準備して試験に望むようにして下さい。

1、「精密検査により ALS（筋萎縮性側索硬化症）との診断結果が出た患者に〈告知〉を行う場合、あなたは〈何を〉、〈どのように〉伝えるべきであると考えるか。

（ALS（筋萎縮性側索硬化症）の症状、進行、治療の可能性、また、療養の在り方、先端研究の現状、罹患者に対する社会的援護制度等について出来る限り具体的に説明した上で、配布資料にあった患者たちの証言、治療法についての先端研究の成果等を参考にしながら、あなた自身が、あるいは、あなたの最も大切な誰かが告知を受けるとしたら、どのような告知が望ましいかを考え、根拠を挙げて丁寧に論述すること。）

2、消化器等に先天的な奇形・障害はあるものの、比較的容易な手術を行えば十分に救命、成長が可能と見込まれる障害新生児（例えば、ダウン症や二分脊椎症等）に対して、敢えて生存に必要な治療を行わない（→死ぬに任せる）という選択について、あなたはどのように考えるか。

（この授業で学んだマイケル・トゥーリーの『嬰兒は人格を持つか』の議論の概要を述べた上で、この議論を手がかりに考えを述べなさい。（予想し得る〈最も強力な反論〉に対しても十分な説得力を持ち得る議論となるよう、根拠を挙げて論述すること。）

以上